

つなげよう つながろう
ふたばのわ



「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるためのコミュニティ紙です。自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。「ふたばのわ」を通して町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。

- ▶ 今をもっと楽しむ!～コーラスふたば・JAふたば大正琴(P2～3)
- ▶ ふたばのイトコ再発見!～双葉町民の歌(P4～5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6)
- ▶ お知らせ(P7) ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■ 発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■ 企画・編集：ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>

今月号では、双葉町での活動を震災後も続けている2つの団体を紹介します。練習している時のみなさんの生き生きとした表情からは、日常生活から少し離れて自分の趣味の時間や人とのつながりを持つことの大切さを改めて感じることができました。



ふるさと未来へ続け

コーラスふたば

きっかけは友人の一言

コーラスふたばが発足したのは昭和45年9月。当時、中学校の合唱祭を聴きに行った友人の「私たちもやりたいね」という一言がきっかけでした。

立ち上げ当初は双葉町公民館の2階でオルガンを使い練習をしていました。ちょうど子育てをしている時期だったので、息子を背負いながら練習していたことも今ではいい思い出です。

そう話すのはコーラスふたばを立ち上げた石井満征^{みゆき}さんです。

歌うことで生活が潤う

震災後は1年間活動を休止していたものの、また歌いたいという声が上がリ練習を再開しました。現在は石井さんの教え子が運営しているいわき市のピアノスタジオにて月1回の練習を行っています。現在のメンバーは15人。練習にははるばる加須から駆けつける方もいます。

「コーラスをやっているおかげで精神的に生活が潤っている」

「今はただ楽しく歌うこと、それが一番」

「練習がある日は朝から心がうきうきする」

メンバーの方からはそんな声も聞かれます。歌っている時のみなさんの表情は明るく、穏やかです。

ふるさとへの想いを歌に

コーラスふたばのみなさんが歌う曲は、福島の魅力や県民の想いを伝えるために震災後作られた「悲しみの青い鳥」や「双葉町民の歌」など、ふるさとを想う曲ばかりです。成人式やダルマ市など町の行事だけでなく、地域のイベントにも出演することもあります。

「人前で歌う機会があるからこそ、練習に励むことができます。また、そのような場でふるさとへの想いを歌で表現することが、聴衆だけではなく自身ふるさとへの想いを再確認することにもつながっています」





今を **もっと** 楽しむ

こころをひとつに JAふたば大正琴

手に持つクワを大正琴に替えて

JAふたば大正琴はJAふたば女性部の部会の一つとして、約20年前に設立されました。立ち上げたのは岩川ヨシ子さん。JAの会議の際、同じく生活指導員をしている方から相馬では大正琴をやっていると聞き、双葉でもやってみようという話になりました。双葉町在住の大和田サタ子先生に指導をお願いして琴生流大正琴の教室として活動を始めました。

岩川さんは、立ち上げ当初の思い出を話してくれました。

「最初の発表会の時、普段は畑仕事や家事で忙しいお母さんたちが、ステージに上がるために、白いブラウスと黒のロングスカートの衣装を身につけ、化粧をし、紅をつける、みなさんの目がとても輝いていたのを覚えてます。ステージに立った時の生き生きとした姿を見て、やっていて良かったなと、やりがいを感じました」

心を元気にする楽しみの場

震災から1年後、また大正琴をやりたいという声を受け郡山市で活動を再開しましたが、現在はいわき市で月2

回の練習を行っています。

これまで指導をしていた大和田先生の退任を機に、今年1月からは大正琴教室からサークルに形を変えて活動しています。練習の後には食事をしたり、お茶を飲んだりして、お互いの近況話をします。これまで当たり前であった近所付き合いが少なくなってしまうという状況なので、おしゃべりの中にふるさとや知人などの話が出て心が温かく、元気になります。

地域に根ざす大正琴の輪

これからの活動について代表の江尻京子さんはこう話しています。

「今後は、双葉に固執しないで、誰でも気軽に入れるように、また、練習をする毎にスマイル（笑顔）がいっぱいになるようにとの願いを込めて、『JAスマイル大正琴』と名前を改めて活動したいです。地域のみなさまと交流を深めるため、行事に積極的に参加し、施設などの訪問演奏にも取り組むたいと考えています。そのために仲間同士が心をひとつにしなから、練習の機会を大切に、これまで身に付けた技術の維持に努めて、息の長いサークル活動を目指したいです」



未来みつめて

作詞 武内 敏子
作曲 山岡 賢舟

双葉町民の歌

ふたばのイイト「再発見」!

双葉町民の歌
未来みつめてー

作詞 武内敏子
作曲 山岡賢舟

梅檀芽とふく双葉の空に
四季を、しるる阿武隈の山
椎葉の野辺は風さわやかに
清き流れに大地はひらく
ああ緑あふれる双葉町

さらさら花咲く双葉の里に
古きよしの清き道は
高い文化の葉を、残し
誇りに心を結ぶ
ああ伝統ふくむ双葉町

大洋波うつ双葉の浜に
若き心も、集いの灯
未来みつめて、力を育て
心を育て、はげむ双葉町
ああゆめ手輝く双葉町



町をこころに刻む

「双葉町民の歌」は、町民憲章（昭和56年制定）の主旨をよりわかり易く、町民誰もが心に刻めるようにと、昭和63年に制作されました。作詞部門と作曲部門に分けて公募が行われ、双葉町在住の武内敏子さんの詞と山岡賢舟さんの曲が選ばれました。

何気ない毎日を詩に

メロディーからは、自然豊かな双葉町を穏やかに吹き渡る風、伝統や誇りを受け継ぎ、未来に向かう町の力強さを感じることができます。

歌詞に盛り込まれているのは、町の花「桜」、町の木「せんだん」、町の鳥「キジ」。そして、毎日の





タブレットや携帯電話でQRコードを読み取ると双葉町民の歌のスライドショーをご覧いただけます。



梅檀芽^{めだん}をふく 双葉の空に
四季をいろどる 阿武隈の山
榎葉^{えいば}の野辺は 風さわやかに
清き流れに 大地はひらく
ああ 緑あふれる 双葉町

さくら花咲く 双葉の里に
古きをしのぶ 清戸^{きよと}の迫^{さこ}は
高い文化の 薫^{かほり}を残し
誇^{ほめ}豊かに 心を結ぶ
ああ 伝統ふかき 双葉町

大洋波うつ 双葉の浜に
若さみなぎる 集いの^{あかり}灯
未来みつめて 力を育て
大きな夢に はばたく雉子^きよ
ああ ゆく手輝く 双葉町



生活の中で折に触れて出てくる言葉やいつも目の前に広がっていた風景です。

帰り道に目の前に広がっていた阿武隈の山々
夏の暑い日に浜風に当たって涼をとっていた海
季節ごとに美しく彩られる田園

そんな、たくさんの方の心にもある双葉町の風景
が自然と思い浮かんでいきます。

以前はお昼のチャイムとして流れていた「双葉町民の歌」。町を離れてみて改めてその存在に気付いた方も多いと思います。

ふるさとの情景を思い浮かべながらももう一度みなさんで歌ってみてはいかがでしょうか。



ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



4月18日
ふたば交流広場 男の料理教室(加須市)



4月21日
せんだん広場 男の体カづくり教室(郡山市)



4月24日
サポートセンターひだまり
青木淳也さんコンサート(いわき市)



4月24日
健康サロン
(福島市)



5月1日
いきいきサポートセンター 玉敷公園散策(加須市)



5月8日
東北地区
グラウンドゴルフ大会
(福島市)



5月9日
県南双樹会
(旧県南借上げ自治会)
足利フラワーパーク散策
(足利市)



5月19日
考えよう!作り出そう!
いわき交流施設(いわき市)



5月20日
南台花いっぱい運動
(いわき市)

お知らせ

募集

平成28年度 双葉地方広域市町村圏組合職員採用候補者試験を実施します

1. 試験職種、採用予定人員及び職務内容

試験職種	採用予定人員	職務内容
大学卒程度(一般事務)	2名程度	事務に従事します。

2. 受験資格

昭和55年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方で自動車運転免許(普通自動車以上)取得または平成28年3月末日まで免許取得見込みの方(学歴は問いません)。

ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できません。

- ①日本の国籍を有しない者
- ②成年被後見人または被保佐人(準禁治産者を含む)
- ③禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者
- ④国家公務員及び地方公務員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ⑤日本国憲法施行の日以後において日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

3. 試験方法

大学卒業程度で次により行います。

(1)第1次試験

①教養試験

職員として必要な一般知識及び知能について択一式による筆記試験を行います。

②適性検査

事務職員としての適応性検査を行います。

(2)第2次試験

第1次試験合格者に対して、小論文試験、個別面接による試験を行います。

4. 試験の期日、場所及び発表

第1次試験

期日▶平成27年7月26日(日)

時間▶○受付9:00~9:30 ○教養試験 10:00~12:00

○適性検査12:10~12:35

試験場▶県立福島工業高等学校

福島市森合字小松原1 電話024-557-1395

発表▶平成27年8月中旬頃当組合掲示場、当組合ホームページに受験番号を掲示するほか受験者全員に通知します。

第2次試験

期日・時間・試験場▶第1次試験合格通知の際にお知らせします。

発表▶別途通知します。

5. 資格調査

第1次試験合格者について、受験資格があるかどうか、申込書に記載されていることが正しいかどうかについて調査します。

6. 合格者の採用

(1)合格者は採用候補者名簿に記載され、成績順に管理者が採用する者を決定します。この採用候補者名簿の有効期間は原則として1年間です。

(2)初任給は、双葉地方広域市町村圏組合の給料表によりますが、この他通勤手当、超過勤務手当、期末手当、勤勉手当等がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。

7. 受験手続及び受付期間

(1)申込用紙の請求

申込用紙は、下記場所にて交付します。郵便により申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「職員採用試験申込用紙請求」と書いて、120円切手を貼った自分宛の返信用封筒(角型2号)を同封し下記交付先住所まで送付してください。

(2)申込の方法

①申込用紙に必要事項を記入して、下記の事務局総務課に提出してください。申込書を郵送する場合は、82円切手を貼った自分宛の封筒(長型3号)を同封し、その表に「職員採用試験申込」と朱書して下記まで送付してください。

②受験票を受領したときは、最近6カ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm)1枚を写真欄に貼って受験当日に必ず持参してください。(受験票がない場合、または受験票に写真の貼っていない場合は、受験できません)

(3)受付期間

平成27年5月28日(木)から同6月26日(金)まで

(平日午前8時30分から午後5時15分)

郵便による申込書提出の場合は、6月24日(水)までの消印のあるものに限り受け付けます。

8. 試験結果の開示

第1次試験の結果については、第1次試験の不合格者に限り口頭で開示を請求することができます。開示内容は得点と順位、開示の期間は合格発表の日から1カ月間、また、開示の場所は、下記の事務局総務課になります。

なお、電話、郵便等による請求では開示できません。受験者本人であることを明らかにする書類(運転免許証、学生証、旅券等)を持参のうえ、**受験者本人が直接おいでください。**

9. 試験当日の注意点

- (1)受験の際は、「HB」の鉛筆と消しゴムを使用してください。
- (2)会場周辺の渋滞を避けるため、試験当日の試験会場への自家用車の乗り入れを禁止いたします。できるだけ公共交通機関を利用してください。
- (3)上履きを持参してください。

その他

(1)申込用紙等に含まれる受験者の個人情報については、職員採用試験以外の目的には一切使用しません。また、提出された書類は返却いたしません。

(2)この試験に関し不明な点は、下記の事務局総務課に問い合わせてください。郵便で問い合わせる場合は、82円切手を貼った自分宛の封筒(長型3号)の返信用封筒を必ず同封してください。

受験申込書交付場所
問い合わせ先

双葉地方広域市町村圏組合 事務局 総務課

【住所】〒979-0402 双葉郡広野町大字下北迫字二ツ沼 44-15 広野町サッカー支援センター内

【電話】0240-27-4665



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成27年5月29日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅……………0.15~0.25
- ②福島市 さくら応急仮設住宅……………0.13~0.21
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅……………0.13~0.27
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅……………0.08~0.51
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅……………0.28~0.29
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅……………0.05~0.07
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅……………0.06~0.08
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅……………0.08~0.09
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅……………0.12~0.16
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所……………0.22
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎……………0.13
- ⑫白河市 県白河合同庁舎……………0.09
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎……………0.06



- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎……………0.05
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎……………0.10
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎……………0.07

双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成27年 5月29日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	1.08
新山	新山公民館	—	0.60
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.53
新山	双葉南小学校	—	0.66
新山	双葉中学校	—	0.69
新山	県立双葉高等学校	—	1.07
新山	中央公園	—	0.76
下条	双葉総合公園	2.60	1.32
下条	双葉町役場	—	0.41
郡山	郡山公民館	1.48	0.73
細谷	細谷公民館	2.31	0.96
三字	三字公民館	2.53	1.26
山田	山田農村広場	24.47	10.35
石熊	石熊公民館	12.10	5.55
長塚	双葉町体育館	6.25	2.65
長塚	長塚二公民館	3.26	1.32

地区	地点	平成24年 4月1日	平成27年 5月29日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.81
長塚	町西住宅	—	0.61
長塚	JAふたば北部営農センター	—	8.70
長塚	双葉北小学校	—	2.52
長塚	ふたば幼稚園	—	2.20
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.68
長塚	双葉町児童館	—	0.47
羽鳥	上羽鳥	1.89	1.00
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.80
寺松	寺松公民館	3.46	1.75
渋川	渋川公民館	1.48	0.70
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	2.15
中田	中田公民館	0.77	0.39
両竹	両竹公民館	0.54	0.20
浜野	浜野公民館	0.34	0.17

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

今月号の取材では、町民のみなさんから、震災以前の双葉町の暮らしについてお話を伺うことができました。その中でも70代女性の言葉がとても印象に残っています。

「若い時は仕事と家事と本当に大変だった。仕事で自分にできないことがあれば図書館に行って本を借りて勉強したり、料理教室を開いてほしいと言われた時は一番美味しい味を見つけるために何度も同じ料理を作ったり、床に就くのはいつも夜中だった。でも、今になってよくやってきたなと感じるし、自分で苦労して身につけてきたことだから自信を持って人に教えられる」

私も何十年か経って自分の人生を振り返った時、こんな素敵な言葉を伝えられるよう、今の時間を大切に過ごそうと思います。

(ふたさぼ 山根光保子)

後世に残したい双葉町

私の「毎日」にはいつも北小がありました。

母校である事はもちろん、自宅が北小のすぐそばにあったため、大人になってからも家にいるとチャイムや校内放送が聞こえてきました。北小のチャイムは一日の時間の目安となっていて、生活のペースを作ってもらったように思います。我が家のペットも北小が大好き。授業中にふと窓の外を見ると愛猫が校庭でお昼寝をしていたり、鎖を外して脱走した愛犬が体育の授業中に私を追いかけたりしたことも、今では懐かしい思い出です。

桜や藤など季節の花で彩られる校庭は、近所の方のお散歩コースにもなっていました。情景が記憶に残っている方も多いのではないのでしょうか。

